

令和2年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	5
事業の状況	9
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	9
公2 生活創造活動への支援	21
公3 芸術文化の振興	25
公共 丹波地域情報の発信等	27
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	27
他1 芸術文化団体等活動支援事業	28
III 法人会計	29
施設の利用状況	31
(1) 丹波の森公苑	31
(2) 丹波年輪の里	32
(3) ささやまの森公園	32
(4) 丹波並木道中央公園	33
事業の受託状況	35

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成2年(1990)に法人化、平成24年(2012)に公益財団法人へ移行)され、丹波の自然と文化を住民共有の財産として、維持発展する責務を定めた「丹波の森宣言」(昭和63年9月1日)に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組んできた。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、これまでの取組の総括を行い、30年という内外情勢の変化や地域環境の変化を踏まえる中で、改めて「丹波の森宣言」に込められた地域づくりの理念の重要性を確認するとともに、「丹波の森づくりのこれから」として新たな取組の方向性を示す「丹波の森づくり30周年記念誌」を発行した。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」SDGsの目標は、「丹波の森宣言」にも呼応しており、丹波地域の持続可能な発展に向け、住む人、行き交う人が自然や文化を大切にし、安らぎと活力に満ち、生き生きと光り輝く地域づくりを推進していく。

これまでの丹波の森づくり活動の実践により、国の重要伝統的建造物群保存地区「篠山」、「福住」の選定、丹波国人衆として勇猛果敢に明智光秀に対峙した「黒井城」、「八上城」の国指定史跡指定、限界集落からの再生を果たした「集落丸山」、「H26丹波豪雨災害」から見事に復興を遂げた丹波市の被災地の姿など丹波の森づくりは、着実に実を結びつつある。また、恐竜・哺乳類化石を活かした丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの推進や本州で一番低い中央分水界(分水嶺)をまちの宝とする氷上回廊水分れフィールドミュージアムの拠点施設整備が始められるなど広域連携を意識した取組も着実に進んでいる。

こうした取組を着実に未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を推進、支援する。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」を引き続き開催するとともに、丹波文化団体協議会等の活動を支援することにより、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、令和2年度の取組として「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」を重要研究テーマとして位置づけ、大学や地域、行政機関と連携し、研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

また、当協会が指定管理を担っている「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」では、丹波の森宣言の実践施設として、施設間の連携を強化し、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

(1) 魅力ある地域づくりの推進

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、昨年度に引き続き”シンボルの森”として里山を楽しめる施設となるよう、里山遊歩道への案内板等の整備を行う。

2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を充実させる。また生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。本年度は、丹波OB大学が創立50周年を迎えるため、記念式典を開催するとともに各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。昨年に続き「丹波における伝統文化体験フェスティバル」を開催する丹波文化団体協議会等の活動を支援するなど、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進する。また、丹波の森国際音楽祭シューベルティアアーデたんばを引き続き開催し、県内外からのクラシックファンなどの誘客をさらに推進する。

また、築25年を迎える丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を行う。

- ・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木材研修会や木育キャラバンの充実を図る。

- ・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

- ・「県立丹波並木道中央公園」では、指定管理期間が満了する5年目を迎え、4年間の総括を行うとともに、残すべき田舎の田園景観を都市公園に取り入れた棚田、茅葺き民家、灰屋（はんや）、そして、手入れされた里山とそれを活かす製材所といった当公園の特徴をしっかりと意識し、自然の恵みを考え、知る体験プログラムの充実を図り、兵庫丹波の森協会と兵庫県園芸・公園協会が連携し、次期指定管理の選定を目指す。

当協会が指定管理を行う意義は、「丹波の森宣言」の実践と周知であり、このことをしっかりと踏まえて、森とともに生きてきた丹波の人々の営みを体感できる公園を基本コンセプトとし、内外に広くアピールする。

また、人工林と製材所をもつ公園の特性を生かし、幼児用の木製手作り遊具の更新や積み木などの木製おもちゃのリニューアルを行い親子連れの来園者に対する木育推進活動を展開する。さらには、棚田を活用した赤米や黒大豆、ジャガイモやサツマイモづくりを通して都市住民との交流を進め、丹波の森の魅力を内外に発信する。

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森親善訪問事業

ウ 丹波の森研究所

エ 地域づくり支援事業

・ 地域づくり支援事業

・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業

・ ミニガーデン花プランイベント開催事業

・ 丹波の里山づくり発信事業

・ シンボルの森整備事業

・ 丹波地域における移住および二地域居住等現状分析業務

・ 戦略的移住推進モデル事業

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催

ク 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ケ 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

ア 丹波の森公苑里山事業

イ 丹波地域生物多様性保全事業

ウ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

(4) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創

造活動」という。)を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

イ 生活創造活動施設貸し館業務

ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設

イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設

ウ 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）創立50周年記念事業

エ 講座「丹波学」の開設

オ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

カ 放送大学センター外視聴覚教室の運営

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

ア トライやる・ウィーク等受入

【全施設】

イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催

ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(4) 公2 共通経費

ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催

イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催

【県立丹波年輪の里】

イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催

【県立丹波年輪の里】

ウ 丹波の森アート作品展の開催

エ 展示ギャラリーの開設

オ 伝統文化活性化支援事業

カ 座っ展 -丹波で坐る木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

キ 音楽活動団体等への支援

(3) 公3 共通経費

ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等 【全施設】
- イ 運営委員会の開催 【全施設】

Ⅱ 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

(資金ベース)

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

※見え消しは新型コロナウイルスにより中止となった事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 【協会事務局】	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第30期 テーマ 「森と出会う、森に集う」 ・募集定員：50人 ・受講生数：33人 ・受講料：8,000円 ・講座回数：9回（うち2回中止） ・開催日、講師、テーマ ① 6月20日（土）天川 佳美・氏 「森と出会う、森に集う」 ② 7月18日（土）澤田 雅浩 氏 「災害復興と自然環境」 ③ 8月8日（土）清野 未恵子 氏 「森林を生きるニホンザルなどの野生動物の保全と課題」 ④ 9月12日（土）上甫木 昭春 氏 「森と共生する生活」 ⑤ 11月14日（土） 現地学習（城崎国際アートセンター他） ⑥ 11月28日（土） ※講師の都合により中止 奥野 卓司 氏 「鳥と森と人間の文化誌」 ⑦ 12月12日（土）嶽山 洋志 氏 「森で育つ子どもたち」 ⑧ 12月19日（土）角野 幸博 氏 「森の住まいと町の住まい」 ⑨ 令和3年1月16日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 岩槻 邦男 氏 「森で生活する」 ● 令和3年1月23日（土） ・みどりの学術賞受賞中瀬勳記念講演会 中瀬 勳 氏 「地域理解・マネジメント・絆」 ・閉講式	1,136,000	989,244	
	イ ウィーンの森親善訪問事業 【協会事務局】	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○丹波の森のシンボル（オオムラサキ）への支援 日本の里山のシンボルともいえる国蝶オオムラサキについて、ウィーン13区のシェーンブルン動物園でオオムラサキを育成する事業に対し、飼育環境の助言と情報交換 ○ウィーン親善訪問 第23回ウィーンの森親善訪問とホストファミリー周遊の旅 旅行期間：7月1日（水）～8日（水） 申込者数：21名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	183,000	182,189	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ウ 丹波の森研究所 【協会事務局】	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○丹波の森づくりの推進にあたり、地域課題に向けた調査研究 ①地域環境の魅力性の抽出と実態調査 ・文献による地域環境の魅力性の抽出 ・地元住民へのヒアリングと現地確認 ・魅力発掘ワークショップの開催 福住：9月19日、令和3年2月14日 神楽：10月19日、令和3年2月19日 ②地域再生における人的ポテンシャルの活用方策の検討 ・福住地域と神楽地域における UJI ターン者を対象としてアンケート調査 回収 79 票 (回収率 59%、配布 133) ○地域再生プロジェクトチーム会議 (丹波県民局、両市担当課と連携) ・集落再生に向けた取り組みについて調査研究資料に基づき具体策を検討 第1回 8月20日(木) 第2回 令和3年3月9日(木)	7,096,000	6,887,607	
	エ 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業 【協会事務局】	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	○アドバイザー派遣等重点地区の支援 ①地区：丹波市山南町上久下地区 内容：かみくげ檜皮茸マップ作成支援 ・植物性屋根(檜皮茸、茅茸)の源流(かみくげの里)を知るための勉強会(ユネスコ無形文化遺産認定予定を受けて) ・伝統建築工匠の技について(座学・現地学習)のコーディネート 12月25日、令和3年1月7日、1月19日	987,000	970,750	
	・たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり事業 (丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会受託事業) 【協会事務局】	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	○これまでの成果を活かしつつ、ツアー・プログラムなどの取り組みを実施することでより広いエリアからの誘客を図ることを目的としている。 ・恐竜化石関係機関(県民局、人博、丹波篠山市、丹波市、推進協議会)の出席する全体調整会議の開催 開催日：7月2日、10月14日、12月17日、令和3年3月16日 ・出張化石発掘体験会の実施先調整 県立公園施設を中心に化石発掘体験会の開催要望を伝え、化石専門指導員の協力もと6施設で実施した。 実施場所：一庫公園(実施日：8/30、11/15)、尼崎の森中央緑地(10/18)、丹波の森公苑(10/24)、舞子公園(11/8)、国営明石海峡公園(12/5)、ささやまチルドレンミュージアム(12/13) ・フィールドミュージアムツアー開催のための企画調整 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらプログラム実施方法を検討しつつ、①たんば恐竜街道スタンプラリー(9/19～11/29実施)、②恐竜化石オンライン講座テスト(3/20実施)の2事業を実施した。	2,490,000	2,466,292	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>①たんば恐竜街道スタンプラリーでは、スマホアプリを活用したスタンプラリーを長期間実施し、三密を避けた。 開催期間：9月19日(土) ～11月29日(日)</p> <p>②恐竜化石オンライン講座テストでは、直接現地での体験が困難な中、リモートでの体験、チャットによる双方向発信など、次年度実施に向け、コンテンツの作成やYouTube配信などのテストを実施した。 開催日：令和3年3月20日(土)</p>			
	<p>・ミニガーデン花 プランイベント 開催事業 (丹波県民局受託事業) 【協会事務局】</p>	<p>丹波地域のサイクリングロードの整備の取組みに合わせて、ミニガーデン(コンテナガーデン)の展示箇所を丹波地域の道の駅など丹波地域の主要スポットに拡大し、地域住民の手により、まち全体を花で飾る取組みを始める。</p>	<p>○丹波の森ミニガーデンの開催 ・募集：8月1日(土)～31日(月) ・制作説明会：9月15日(火) ・展示期間：10月3日(土)～11月1日(日) ・開催場所：道の駅あおがき、道の駅丹波おばあちゃんの里、丹波の森公園、丹波並木道中央公園(4か所、10枠) ・応募グループ：丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、南中ふれあい・いきいきサロン、中野母親クラブ、有志ささやまの森、黒井小学校PTA、青垣中学校、篠山産業高校、篠山東雲高校、氷上高校</p> <p>○たんばオープンガーデンへの参加 開催日：4月26日(日)、5月24日(日) 開催場所：丹波の森公園 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	1,450,000	1,393,568	
	<p>・丹波の里山づくり 発信事業 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託事業) 丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(実施計画および中長期計画策定支援) 【協会事務局】</p>	<p>丹波地域では、「丹波の森宣言」に基づき、地域全体を一つの森として自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいく取組みを丹波県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働で推進する。 ・丹波地域の美しい里山を次の世代へとつないでいくため、丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体の活動が地域に根ざした息の長い取り組みとなるように支援体制を構築し、前年度に整備した基礎資料に基づき、具体的な活動計画と将来目標に向けた中長期計画が策定できるように支援する。</p>	<p>○丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(実施計画および中長期計画策定支援) ・丹波地域の里山づくりを行うモデル団体公募により選定された4地区に対してアドバイザーを派遣し、里山づくり活動を支援した。 (1)上板井自治会(丹波篠山市) (2)岩崎自治会(丹波篠山市) (3)八幡共有山組合(丹波篠山市) (4)ふるさと和田里山づくり協会(丹波市)</p>	1,270,500	1,255,701	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(活動評価、計画調整および情報発信支援) 【協会事務局】	・丹波地域の美しい里山を次の世代へとつないでいくため、丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体の活動が地域に根ざした息の長い取り組みとなるように支援体制を構築し、前年度に活動団体が作成した中長期活動計画に基づく活動実施を支援するとともに、丹波地域内外への活動内容の情報発信を支援する。	○丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(活動評価、計画調整および情報発信支援) ・モデル団体6地区で策定・検討された「里山づくり計画」実施のための課題解決や計画の見直しなどの支援を行った。 (1)森の学び舎プロジェクト(NPOバィオマス丹波篠山)(丹波篠山市) (2)生郷里山づくり懇話会(丹波市) (3)平松区森林愛好会(丹波市) (4)北岡本自治会(丹波市) (5)NPOバィオマスフォーラムたんば(丹波市) (6)下三井庄自治会(丹波市) ・拡大アドバイザー会議の開催 趣旨:通常はアドバイザー中心に開催しているが、活動団体の現状の問題や今後の課題等について、関係者と意見交換をしつつ問題解決に向けた方向を探る。 開催日時:令和3年3月19日(金) 13時~15時 場所:丹波の森公苑セミナー室 出席者:19名 (里山づくり活動団体代表者、里山づくりアドバイザー、木の駅プロジェクト、丹波農林振興事務所、丹波篠山市、丹波市、丹波の森研究所) 議題:①活動団体代表者からの報告 ②現在抱える問題や今後の課題について ③里山づくりアドバイザーからの報告 ④行政、木の駅プロジェクト代表を交えて意見交換	1,702,800	1,682,964	
	・シンボルの森整備事業 (丹波県民局受託事業) 【協会事務局】	森をまるごと里山ミュージアムにするため、丹波の森づくりの中核施設「シンボルの森」(丹波の森公苑)で、それぞれの施設の特徴を生かした丹波の森を象徴する上質な里山を順次整備し、里山を楽しめる施設とすることで丹波の森の魅力を地域内外に発信していく。	丹波の森宣言に基づき、丹波の森公苑の里山がシンボルの森にふさわしい質の高い環境となるよう整備を行った。 ・丹波の森公苑散策道への番号標柱の設置(24ヶ所)	878,900	876,659	
	・丹波地域における移住および二地域居住等現状分析事業 (兵庫県受託業務) 【協会事務局】	今般の新型コロナウイルス感染症が拡大する中、豊かな自然のある地域で過ごしたいという地方回帰の流れが強まる中、都市近郊にありながら、日本の原風景と言える田園空間やブランド農産物、集落に残る複数の古民家等の地域資源を有する丹波地域において、移住や二地域居住の更なる推進を図るうえで必要となる	丹波地域における移住および二地域居住等現状分析業務 ・丹波地域への人の動きの把握(移住的側面、観光的側面) ・移住および二地域居住者へのヒアリング調査 ・移住および二地域居住促進に向けたネットワークの構築のための分析	950,000	947,919	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
		地域の状況を把握するため、移住および二地域居住促進の現状や今後の可能性等について調査分析を行う。				
	・ 戦略的移住推進モデル事業 (丹波篠山市福住地区まちづくり協議会受託事業) 【協会事務局】	当該事業は、兵庫県の補助事業である「戦略的移住者推進事業」で計画策定・活動支援、移住コーディネーター雇用支援、移住者促進支援等の業務内容の内、「計画策定・活動支援」について丹波の森研究所が支援している。 補助事業の目的は、「多自然地域において地域内の高齢化の進行、年齢構成の偏りが懸念される中、戦略的に移住者や二地域居住者の受け入れに取り組む地域を支援し、将来にわたって人工維持、地域活力の維持を実現する。」である。	丹波篠山市福住地区「戦略的移住推進モデル事業」計画策定支援 ・ 3か年(2020～2022年)の活動計画策定作業の支援 ・ 移住者情報の収集、地域の魅力・地域資源、地域課題の調査に係わるワークショップの開催やアンケート調査の内容作成等について支援	1,080,000	1,073,588	
オ	花づくり活動支援事業 【丹波の森公苑】	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) ・ 内 容: 草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 ・ 受講者数: 43人/募集70人 ・ 受講料: 13,400円 ・ 講 師: 県立ワライセンターから派遣 ・ 実施期間: 7月～令和3年3月 (年6回→5回) ○花と緑の教室(自主活動グループ) ・ 内 容: 花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者をリーダーとして、花の魅力を伝える花と緑の教室を地域単位で開催 ・ グループ数等: 3グループ・8人 ・ 受講料: 11,400円 ・ 講 師: 花と緑の教室を受講した者 ・ 実施期間: 7月～令和3年3月 (年6回→5回) ○園芸教室(応用創作講座) ・ 内 容: 創作寄せ植えを中心とした知識修得、実習 ・ 受講者数: 25人/募集36人 ・ 受講料: 5,000円(材料費等別) ・ 講 師: ひょうごガーデンマイスター認定 田丸和美 ・ 実施期間: 9月～令和3年3月 (年6回→5回)	795,000	795,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	カ 丹波の森フェスティバルの開催 【丹波の森公苑】	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波地域の各層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催した。 ・開催日：10月25日(日) ・ワークショップ等 11ブース ・活動団体の作品展示等 11団体 ・特設ステージ 6団体 ・来場者数：900人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催(丹波GOGOフェスタは中止)	762,000	762,000	
	キ 丹波の森収穫祭(なみきみちまつり)の開催 【丹波並木道中央公園】	丹波地域の数多い特産物の収穫を祝うとともに、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施することによって都市部からの来場を図り、地域住民と都市住民との交流を深める場とする。 また併せて、丹波地域において取り組まれている「フィールドミュージアム構想の推進」や「森づくり活動」「里山再生」などの活動状況を広くPRし、参画と協働を呼びかける。	・開催日：10月6日(日) ・内容：音楽ステージ、ビンゴゲーム、赤米餅つき体験、お茶の茶かぶり体験、化石発掘体験、ピザ作り、泥だんごづくり、ツリーイングほか ・来場者数：(目標入園者数6,300人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0	0	
	ク 丹波年輪の里事業 【丹波年輪の里】	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。 ○工作室における木工クラフトの指導 (通年) 団体 13団体 334人 個人 1,411人 ○ゴールデンウィークフェスタ 開催期間：5月2日(土) ～6日(水) ・親子工作教室 ・丹波ウッドワーカーズクラフト ・座の展2019＝丹波で座る木の椅子 ・アトリエ作品展 ・フリーマーケット ・竹とんぼ教室 ・ツリーイング教室 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○平日グラウンドゴルフ 営業日：123日 参加者数：2,766人 ○林産指導事業 木を暮らしに取り入れるための普及 (通年) ・web サイトからの木材に関する情報提供 ・宍粟市、猪名川町の幼稚園・保育所等の園児を対象とした木製玩具づくりワークシ	1,841,000	1,669,345	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>ヨップを実施（5ヶ所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談などに応じている。 ・ワークショップの活動後に木育キャラバン用具の体験。6年目になる「木育キャラバン」であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動は中止していた。ワークショップ受け入れの市及び施設担当者と協議し、木製玩具体験の時間を設定した。 			
	ケ 丹波並木道中央公園事業 【丹波並木道中央公園】	都市公園の健全な利用を図るとともに、地域連携や住民の参画と協働を基本とする都市公園の運営を行い、憩いと安らぎを提供する。また、公園の特性を生かして、環境学習プログラムや都市・農村の交流プログラム等の実施を行うなど適正かつ効率的な公園運営を行う。	利用促進事業（自主事業・参加型プログラム）の企画・運営 1) 環境学習事業・自然学習体験 ①なみきみち里山の日イベント （丹波篠山市連携事業） 開催日：5月5日（火） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 2) 都市・農村の交流事業 ①赤米の田植え体験 開催期間：5月20日（水）～23日（土） 参加者：こども園3園、一般 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ②棚田のかかし立て 開催日：9月2日（水） 参加者数：49人（こども園2園） ③赤米の収穫体験 開催期間：10月24日（土）～27日（火） 参加者数：49人（こども園2園、一般） ④黒豆の収穫体験 開催日：10月18日（日） 参加者数：7人 ⑤丹波の冬仕事「寒茶づくり」 開催日：6月2日（日） 参加者数：9人 ⑥正月イベント凧づくり 開催日：令和3年1月10日（日） 参加者数：9人 3) 地域づくり支援 ①子育てサークル等のプログラム提供 →そうめん流し、プール遊び 開催期間：6月～8月 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ②地域団体が主催する展覧会・イベントへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・秋のなみきみちマルシェ 開催日：9月7日（日） ・春のなみきみちマルシェ 開催日：未決定 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	2,128,000	798,655	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			③地域のスポーツ・芸術・文化団体への会場提供と催しへの全面協力 ・七夕カフェ 開催日：7月5日(日) 参加人数：8人 ・丹波篠山茶で和紅茶をつくろう 開催日：7月23日(木) 参加人数：5人 ・こころと体の癒し講座(全3回) 開催日：7月29日(水)、8月19日(水)、9月16日(水) 参加人数：全16人 ・丹波市・丹波篠山市合同中学校駅伝競走大会 開催日：10月21日(水) 来園者数：220人 ・丹有地区中学校駅伝競走大会 開催日：10月28日(水) 来園者数：450人 ・ふるさとグランツール兵庫丹波 開催日：11月1日(日) 来園者数：110人 ・ミニ駅伝大会 開催日：11月7日(土) 来園者数：165人 ・野鳥観察会 開催日：11月7日(土) 参加人数：12人 ・冬のはじまり茶会 開催日：11月29日(日) 参加人数：8人 ・こころと体の癒し講座「満開の桜」を描こう 開催日：令和3年3月17日(水) 参加人数：8人 ※下記イベント、全て新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・煎茶道～清明のつどい～ 開催日：4月5日(日)、6月27日(土) ・石ころアート 開催日：5月5日(火) ・英語イベントEnglish Spring Party 開催日：5月10日(日) ・結の会おさらい会 開催日：5月31日(日) ・かやぶき民家でお茶づくし 開催日：6月7日(日) 4) 自然環境・里山再生・間伐材活用 ①公園の植樹・森林整備 ・住友ゴム工業(株)「ロマンの森」 植樹活動開催日：5月8日(金) 6月27日(土) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・里山スクール(丹波篠山市と共催) 開催日：令和3年1月23日(土)、24日(日)、31日(日) 参加人数：各回15人			

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			②健康づくりプロジェクト ・ノルディックウォーキング 12回実施(毎月1回開催) (4月、5月は中止) 参加人数:71人(計10回) ③間伐材を使用した木工教室 ・大人の木工教室: 23回実施(毎月第1、第3土曜日) (4月、5月は中止) 参加人数:68人(計19回) ・こどもクラフト体験(一般・団体・出前 実施含む) 6回実施 参加人数:27人 ④花と緑を活かしたイベントの実施 ・花と緑の教室 8回(うち2回中止) 参加人数:76人(計6回) ・ブリザードフラワーアレンジメント 4回実施 参加人数:34人 ・たんぼオープンガーデン (1花壇として参画) 期間:4月26日(日)~27日(月) 5月24日(土)~25日(日) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 5)公園活用 ①ナイトパーク 開催日:8月10日(月・祝) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 6)効果的な広報・PRの実施 ①公園広報誌「PARK LIFE」の発行 年4回→3回、各14,000部発行 丹波篠山市・丹波市の全小学生に配布 するほか、地域の公共施設および県下の 都市公園等に配布			
(2)生物 多様性 保全に 向けた 豊かな 地域づ くりの 推進	ア 丹波の森公苑里 山事業 【丹波の森公苑】	丹波の森公苑の里山を 活動の場とし、里山の自 然や生き物とのふれあい を通じて、森づくりに参 画する人材の育成を図 る。 また、緑豊かな森づく りに向けた住民の主体的 な活動を支援するととも に、丹波の里山に国蝶オ オムラサキが舞う姿を取 り戻し、良好な里山環境 を次世代に繋げていくた め、オオムラサキの飼育 展示や地域でのオオムラ サキの生息環境整備を促 進する。	○里山ボランティア(森づくりスタッフ) 養成事業 ・森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持って いる人や技術修得をめざす人を対象に、 丹波の森公苑里山を拠点とした研修の 実施。 日 程:10月~令和3年2月 3講座(8回) 受講者数:刈払機 0人 刃研ぎ 2人(1回開催) 里山整備 5人(延べ21人) (6回開催) ・里山及び環境学習体験フィールドの整備 森づくり講座受講生等を中心とした 自主活動グループ「里山倶楽部(H15創 設、会員数25人)」及び「里山整備サポ ーター(H30創設、会員数11人程度)」 に活動の場を提供することにより、苑内 里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き 物飼育場の整備を行う。	623,000	623,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>○森づくり活動アドバイザーの設置 緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくり活動アドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。</p> <p>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導 (20 小学校、1 高校、10 事業所等) ・第 11 回記念放蝶会 日時：7月5日(日) 場所：丹波の森公苑管理棟正面玄関 参加者数：10人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、兵庫丹波オオムラサキの会会員のみに実施) 放蝶数：20頭 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト 対象：小学生 募集期間：8月1日(土) ～9月30日(水) 応募総数：192点 作品展： ① ゆめタウン丹波会場 10月31日(土)～11月11日(水) ②丹波篠山市立図書館会場 令和3年1月7日(木) ～15日(金) ③丹波の森公苑会場 令和3年2月3日(火) ～14日(日) ・他団体のオオムラサキの舞う里山づくりへの支援 柏原自治協議会主催のオオムラサキ展示、放蝶会の開催への協力 実施期間：7月7日(火)～12日(日) 			
イ	丹波地域生物多様性保全学習事業 【協会事務局】	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	<p>○生物多様性の保全に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性を自然保護団体や県・市の会議等において情報を発信し、地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。 ・自然保護団体等が環境学習を行う場合に、生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援していく。 	926,000	773,875	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>○生物多様性保全の意識向上 地域での実践活動が行えるよう、市民の意識を高め、市民・行政の取組を広げていく。</p> <p>○フェノロジーカレンダーの作成 ・フェノロジーとは生物季節学という意味で、自然を中心とした年間暦であり、年間の自然と生活・活動の流れが理解できる。</p> <p>・時間軸を考慮して、生活の中で自然・文化を守る取組として、フェノロジーカレンダーを作成し、PRを図る。</p> <p>・丹波年輪の里、ささやまの森公園及び丹波並木道中央公園において作成中</p>			
ウ	ささやまの森公園事業 【ささやまの森公園】	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などの実施をすることにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	<p>○基本プログラム</p> <p>・里山体験班：草木で染めよう、布ぞうりを作ろう、みつろうでロウソクを作ろう等プログラム回数：12回 参加者数：99人 (定員の定めのあるもの187人に対して99人)</p> <p>・里山伝承班：黒枝豆を収穫しよう、そば道場入門、黒豆のお味噌を作ろう等 プログラム回数：7回 参加者数：90人 (定員の定めのあるもの182人に対して90人)</p> <p>・自然学習班：バードウォッチング、水辺の生きものを探そう、冬の生きもの探し等 プログラム回数：7回 参加者数：66人 (定員の定めのあるもの205人に対して66人)</p> <p>・レクリエーション班：深山登山、アマゴのつかみ取りをしよう、竹でスピーカーを作ろう等 プログラム回数：7回 参加者数：68人 (定員の定めのあるもの139人に対して68人)</p> <p>・里山復元班：丸太のベンチ作り、スギ玉を作ろう、チェンソー安全教室等 プログラム回数：11回 参加者数：101人 (定員の定めのあるもの128人に対して101人)</p> <p>○特別プログラム</p> <p>・春秋の里山まつり</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>・「里山の目」特別企画 コケ玉を作ろう、ウッドバーニダ、深山登山</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○森の学校(第13期生)9月開校 動植物の観察、森の木を切る体験、冬の生きもの探し等 募集定員：20人(小学3年～6年生) 参加者数：9人(7回/年)</p>	11,979,472	10,671,492	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用：自然観察、竹の灯籠作り、木工クラフト等 参加者数：13 団体、262 人 ・篠山東雲高校「里山文化」(第 5 回) 6 月開講 間伐体験、野草茶作り、陶芸等 参加者数：生徒 10 人 (17 回/年) 			
(3)生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公苑環境学習推進事業 【丹波の森公苑】	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>○子ども対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波縄文の森塾の開催 開催期間：6 月～令和 3 年 3 月 参加料：6,500 円 塾生：28 人／募集 30 人 (小 3～6) 内容：里山探索、生きもの観察、縄文土器づくり、ツリーイング、稲刈りなど ※縄文キャンプは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>○リーダー養成プログラム</p> <p>縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置 (22 名)。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培っている。</p> <p>○環境学習支援プログラム</p> <p>①親子・家族対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の里山ふれあいハイキング ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・秋の里山ふれあいハイキング 開催日：10 月 25 日 (日) 参加者数：14 人 (定員 30 人) ※春の里山ハイキングの代替として、丹波の森フェスティバルにおいて実施 ・さわってみ丹波—いきもの大集合 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>②幼児・小学生対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 開催期間：9 月 18 日 (金)～10 月 16 日 (金) 参加者数：764 人 参加者：丹波地域の保育所、幼稚園、小学校等 ・出前講座の実施 オオムラサキ等関係 21 回 	1,253,000	1,225,296	
(4)公 1 共通経費	ア 施設運営・管理	公 1 森林文化 (地域づくり) の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公 1 森林文化 (地域づくり) の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	172,726,170	170,233,460 (事) 4,433,813 (施) 15,160,042 (年) 83,904,643 (さ) 25,698,152 (並) 41,036,810	

公 2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考																																																																															
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む。) 【丹波の森公苑】	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信、自主的な活動についての団体・グループ等の活動を支援する。 消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供 ・生活創造活動支援のための相談・助言 ・生活創造活動グループサポート事業(グループ数実績：9グループ) ○消費生活出前講座の実施(6回実施) ○消費生活にゆーすの発行(4回発行)	180,000	180,000																																																																																
	イ 生活創造活動施設貸し館業務 【丹波の森公苑】	新型コロナウイルス感染症予防に配慮した運営を行いながら、会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、県民の生活創造活動のために統一的な基準による貸し館業務を行う。	利用者数(貸し館に係るもの) (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="5">年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>ホール・アトリエ</td> <td>32,785</td> <td>34,915</td> <td>32,067</td> <td>29,685</td> <td>10,225</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>33,973</td> <td>34,692</td> <td>35,041</td> <td>28,510</td> <td>13,939</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>21,668</td> <td>19,789</td> <td>20,965</td> <td>21,193</td> <td>13,892</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>88,426</td> <td>89,396</td> <td>88,073</td> <td>81,388</td> <td>38,056</td> </tr> </tbody> </table> 施設使用料収入 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="5">年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>ホール・アトリエ</td> <td>4,593,000</td> <td>4,793,950</td> <td>4,658,450</td> <td>4,257,050</td> <td>2,366,500</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>2,851,330</td> <td>2,801,800</td> <td>2,973,150</td> <td>2,297,000</td> <td>1,714,900</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>3,367,030</td> <td>2,994,500</td> <td>2,960,050</td> <td>3,501,900</td> <td>2,486,900</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>10,811,360</td> <td>10,590,250</td> <td>10,591,650</td> <td>10,055,950</td> <td>6,568,300</td> </tr> </tbody> </table> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月8日から5月17日は臨時休館となり、5月19日からは定員を半分以上として開館したが、利用者数・施設使用料収入に大きな影響を受けた。 このような状況の中でも、9月6日(日)には入苑者600万人を達成し、記念セレモニーを実施した。近年において、設備の面で利用者の利便性向上を図っており、従来の利用者に加え、新規の利用促進のためHP等を活用しPRに努める。			年度							H28	H29	H30	R1	R2	施設	ホール・アトリエ	32,785	34,915	32,067	29,685	10,225	研修棟	33,973	34,692	35,041	28,510	13,939	テニスコート等	21,668	19,789	20,965	21,193	13,892	計		88,426	89,396	88,073	81,388	38,056			年度							H28	H29	H30	R1	R2	施設	ホール・アトリエ	4,593,000	4,793,950	4,658,450	4,257,050	2,366,500	研修棟	2,851,330	2,801,800	2,973,150	2,297,000	1,714,900	テニスコート等	3,367,030	2,994,500	2,960,050	3,501,900	2,486,900	計		10,811,360	10,590,250	10,591,650	10,055,950	6,568,300		
		年度																																																																																			
		H28	H29	H30	R1	R2																																																																															
施設	ホール・アトリエ	32,785	34,915	32,067	29,685	10,225																																																																															
	研修棟	33,973	34,692	35,041	28,510	13,939																																																																															
	テニスコート等	21,668	19,789	20,965	21,193	13,892																																																																															
計		88,426	89,396	88,073	81,388	38,056																																																																															
		年度																																																																																			
		H28	H29	H30	R1	R2																																																																															
施設	ホール・アトリエ	4,593,000	4,793,950	4,658,450	4,257,050	2,366,500																																																																															
	研修棟	2,851,330	2,801,800	2,973,150	2,297,000	1,714,900																																																																															
	テニスコート等	3,367,030	2,994,500	2,960,050	3,501,900	2,486,900																																																																															
計		10,811,360	10,590,250	10,591,650	10,055,950	6,568,300																																																																															
ウ スポーツ大会・文化教室の開催 【丹波年輪の里】	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会を開催する。また、工作室などを利用する木工特別教室やこどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 ・募集講座(年/1回～8回コース) 募集講座数：35講座 募集定員：301人 参加者数：256人 ・定期講座 木彫り教室Ⅰ・Ⅱ(年/各19回) 参加者数：462人(年間) 木工クラブ(年/22回) 参加者数：182人(年間) 木彫サークル(年/9回) 参加者数：92人(年間) ○グラウンドゴルフ大会(年4回予定) —(第1回)開催日：6月3日(火)— —(第2回)開催日：9月1日(火)— ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (第3回)開催日：12月1日(火) 募集定員：144人 参加者数：134人 (第4回)開催日：令和3年3月4日(水) 募集定員：144人 参加者数：107人 ○第4回「心を届ける たんば絵てがみコンクール」 テーマ「愛」 募集期間：9月1日(火) ～12月27日(日)	2,483,000	2,246,600																																																																																	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			応募総数：442名から570点 展示期間：①令和3年2月6日(土) ～21日(日) ②令和3年2月25日(木) ～3月12日(金) 展示場所：①丹波年輪の里木の館 ②兵庫県中央労働センター ※他、丹波の森公苑、ゆめタウンでも 巡回展予定			
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 【丹波の森公苑】	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	○丹波OB大学 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・受講者数：128人 (1年24人、2年29人、 3年31人、4年44人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催期間：7月15日(水)～ 令和3年3月3日(水) 全16回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期・回数を変更して実施 ・受講料：12,500円	1,800,000	1,800,000	
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設 【丹波の森公苑】		○丹波OB大学大学院 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・受講者数：8人 (1年4人、2年4人) ・講座内容：基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催期間：7月15日(水)～ 令和3年3月3日(水) 全16回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期・回数を変更して実施 ・受講料：12,500円			
	ウ 丹波OB大学創立50周年記念事業の開催 【丹波の森公苑】	丹波OB大学が設立50周年を迎えることを記念し、記念式典をはじめとする記念事業を実施する。 (昭和45年10月18日丹波OB大学開設)	○記念式典、記念行事 ・開催日：11月4日(水) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・参加者数：220名 ・内 容：式典、実践活動発表会 記念講演会 桂歌之助氏(落語家) ○記念作品展 ・開催期間：11月4日(水)～6日(金) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルーム、 創作工房 ・内 容：書道、写真、絵画等 ・入場者数：555人 ○記念誌の発行	403,000	403,000	
	エ 講座「丹波学」の開設 【丹波の森公苑】	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	・テーマ：明智光秀～光秀は何を見たか～ ・開催期間：8月29日(土)～ 12月26日(土) 全5回 ・場 所：丹波の森公苑ホール ・募集定員：130人	915,000	915,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：183人 ・講師：渡邊大門氏(株)歴史と文化の研究所代表取締役)ほか ・受講料：5,000円 			
	オ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催 【丹波の森公苑】	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	○学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：9月25日(金) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・参加者数：277人(丹波地域内の高齢者 大学受講生など) ・内容：作品展(書、工芸、手芸、日本画、写真、洋画、彫刻、短歌・俳句・川柳) 	90,000	90,000	
	カ 放送大学センター外視聴教室の運営 【丹波の森公苑】	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般市民への学習教材の視聴提供も行う。	放送大学生への学習支援として、教材並びに視聴覚機器を提供。 【(1)ア 生活創造活動支援事業と並行して実施】	-	-	
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入 【丹波の森公苑】 【丹波年輪の里】 【ささやまの森公園】 【丹波並木道中央公園】	中・高校生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ・ トライやる・ウィーク(中学生) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ※丹波並木道中央公園実施 期間： 6月1日(月)～5日(金) 代替事業 12月14日(月) 受入生徒数：4人	10,000	10,000	
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 【丹波の森公苑】	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	○レッスン <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：9月6日(日)～令和3年1月16日(土) 全17回 ・場所：丹波の森公苑 多目的ルームほか ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・参加者数：48人 ・指導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 ○発表公演 「オズの魔法使い」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和3年1月17日(日) 2回公演 ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場者数：660人 ・入場料：大人700円 高校生以下無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期を変更して実施	5,744,770	5,744,770	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ウ 丹波(丹波篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援 【協会事務局】	子どもの健やかな成長と ところ豊かな地域づくりを 願い、兵庫丹波の森協会が 発行している「丹波(丹波篠 山市・丹波市)のむかしばなし」 (全10集)を活用し、家庭や 地域に広める活動を推進する ため、大型紙芝居等の作成・ 修復に対する助成や研修会を 開催する。	○「丹波のむかしばなし」を 活用した交流会、研修会の 実施 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止 ○紙芝居修復助成金 1件	46,000	42,633	
(4)公2 共通 経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への 支援事業を推進するための 人件費及び施設の維持管理 費	公2 生活創造活動への支援 事業を推進するための人件 費及び施設の維持管理費に 支出している。	93,945,500	93,876,489	

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催 【丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会】 (主催：実行委員会事務局を担当し、負担金を支出)	国内外からアーティストを招聴し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシューベルツの音楽を楽しむ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」、「ガラ・コンサート」の開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの開催 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」及び「キン・コン・カン・コンサート」の実施	○オープニング・サロンコンサート、ガラ・コンサート、街角コンサートは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、次の事業を実施した。 ・テーマ「シューベルツの音楽を振り返る <small>かえりみ みちしるべ</small> 回想と道標」 ・開催期間：9月1日(火)～令和3年1月31日(日) ・トライアルライブ1 開催日：10月9日(金) 会場：お菓子の里丹波ミオール館 参加者数：無観客 ・トライアルライブ2 開催日：11月13日(金) 会場：丹波の森公苑ホール 参加者数：42名 ・これまでのコンサート等の動画配信 配信動画：66本 視聴数：1万4千回 ○ふるさと音楽ひろば(小学校5校) ・参加者数：816人 ○ キン・コン・カン・コンサート ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	1,500,000	1,500,000 (事) 500,000 (苑) 1,000,000	
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業 【丹波の森公苑】	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	丹波の森芸術展 ・開催日：令和3年2月13日(土)～14日(日) ・会場：丹波の森公苑多目的ルーム ・内容：丹波地域在住の新進気鋭アーティストによる作品展、作品等販売会 ・出展者：8名(公募、招待) ・入場者：448名	150,000	150,000	
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 【丹波年輪の里】	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。	アートクラフトフェスティバル in たんば2020 ・WEB開催：11月7日(土)～12月31日(日) ・総閲覧数：33,416ビュー	400,000	400,000	
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催 【丹波年輪の里】	丹波のイメージアップと木エクラフトを普及させる全国公募展を開催する。	○一般の部 ○ ジュニアの部(高校生以下) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	200,000	200,000	
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催 【丹波の森公苑】	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○丹波の森新春書き初め展 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・開催期間：10月29日(木)～11月1日(日) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・来場者数：94人 ・出品者数：34人	80,000	80,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 展示ギャラリーの開設 【丹波の森公苑】	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	利用件数：25回（書道展、絵画展、写真展など）	10,000	10,000	
	オ 伝統文化活性化支援事業 【丹波の森公苑】	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○子どもたちのための和楽器鑑賞会（丹波文化団体協議会による出前授業） ・開催期間：11月～令和3年2月 ・場所：丹波管内の小学校及び特別支援学校10校 ・参加者数：236人	110,000	110,000	
	カ 座っ展2020の開催 【丹波年輪の里】	木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを感じていただき、丹波に木工クラフト文化の定着を図るため、丹波地域で創作活動をする木工家の木の椅子の展示会を開催する。	「座っ展2020—丹波で坐る木の椅子—」 →開催期間：5月2日（土）～6日（水） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	50,000	50,000	
	キ 音楽活動団体等への支援 【協会事務局】	森づくり基金として受け入れた寄附金を活用し、丹波の森公苑ホールを利用する音楽関係団体等に対し、利用料に対する助成金を拠出し、団体等への支援を行うことで、音楽関係団体の発展等に寄与する。	音楽活動振興助成実施要綱（ウチダッシュ基金活用事業）に基づき、丹波の森公苑ホールを利用された丹波地域で音楽活動を行っている団体に助成金を交付 ・助成団体 ①丹波市音楽協会 ②兵庫県立柏原高等学校吹奏楽部	102,000	100,550	
(3) 公3 共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	30,972,000	30,634,917	

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 【協会事務局】 【丹波の森公苑】 【丹波年輪の里】 【ささやまの森公園】 【丹波並木道中央公園】	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを充実し、タイムリーな情報を提供する。	○年報 (年1回発行) ・8月発行 協会ホームページに掲載 ○協会ニュース ・12月発行 関係機関配付 協会ホームページに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・更新 毎月3回(1日、11日、21日) ※ホームページリニューアルにより令和3年2月より随時更新 ・アクセス件数 延べ 2,600件(兵庫丹波の森協会) " 19,856件(丹波の森公苑) " 105,961件(丹波年輪の里) " 85,133件(丹波並木道中央公園) ※ささやまの森公園については令和3年度より対応する。 ○フェイスブック、インスタグラムによる情報発信 ・随時更新	1,949,000	1,928,100 (事) 11,159,100 (苑) 769,000	
	イ 運営委員会の開催 【丹波の森公苑】 【丹波年輪の里】 【ささやまの森公園】 【丹波並木道中央公園】	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ・開催日:令和3年3月9日(火) 17人出席 ○丹波年輪の里運営協議会 ・開催日:令和3年3月11日(木) 11人出席(オプザパー含む) ○ささやまの森公園運営協議会 ・令和3年3月25日(木)12人出席 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 ・第1回:8月4日(火)10人出席 ・第2回:令和3年2月26日(金) 9人出席	410,000	311,388 (苑) 200,000 (年) 26,210 (さ) 36,787 (並) 48,391	

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 【丹波の森公苑】 【丹波年輪の里】 【丹波並木道中央公園】	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	○公益目的以外で施設を貸与 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ○施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 ①飲み物の自販機設置 ②物販販売場所の提供 ③レンタサイクル事業 ・丹波年輪の里 ①レストラン施設貸与 ○木工クラフトキット、加工木材等を販売	4,765,000	3,345,400 (苑) 1,215,000 (年) 2,017,299 (並) 113,101	

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 【丹波の森公苑】	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	<p>○丹波文化団体協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成団体数：30 団体 <p>【主な実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波文化団体協議会伝統文化鑑賞会 ・地域文化活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 子どもお琴教室 ・会報の発行 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの心をうたう丹波音楽祭 ・丹波伝統文化活動交流会 ・伝統文化体験フェスティバル ・先進地視察 <p>○日本の童謡・唱歌をひろめる会</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○丹波の森ふれあいステージ実行委員会</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	200,000	200,000	

Ⅲ 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 法人 会計	ア 協会維持運営	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の 人件費及び維持運営費	○評議員会 ・第17回評議員会 4月1日(水) (書面同意)理事の選任について ・第18回定時評議員会 6月24日(水) 令和元年度事業報告及び収支決算 の承認について、理事の選任につい て、監事の選任について、評議員の 選任について、評議員会長の選定に ついて ・第19回評議員会 12月5日(土) (書面同意)理事の選任について ○理事会 ・第29回理事会 4月1日(水) (書面同意)常務理事の選定について ・第30回理事会 6月5日(金) 令和元年度事業報告及び収支決算、令 和2年度収支補正予算(第1次)、第 18回評議員会の招集について ・第31回理事会 6月24日(水) (書面同意)理事長、副理事長及び常 務理事の選定について ・評議員会招集に係る理事会 12月4日(金) (書面同意)第19回評議員会の招集に ついて ・第32回理事会 12月5日(土) (書面同意)副理事長の選定について ・第33回理事会 令和3年2月27日(土) (書面同意)令和2年度収支補正予算 (第2次) ・第34回理事会 令和3年3月23日(火) 令和2年度収支補正予算(第3次)、 令和3年度事業計画及び収支予算、 第20回評議員会の招集について ○監事監査 5月28日(木) ・令和元年度事業報告及び収支決算につ いて 11月11日(水) ・令和2年度上半期事業報告及び収支決 算について ○協会事務局管理部門の人件費及び維持 管理費	12,595,000	12,429,256 (事) 12,273,956 (宛) 80,000 (年) 47,000 (さ) 0 (並) 28,300	

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1) 丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期使 用料収入	前年度対比
ホール	275	39	14.2	4,854	1,280,900	2,932,250	43.7
練習室兼楽屋	275	153	55.6	3,258	380,400	536,600	70.9
楽屋A	275	23	8.4	120	32,200	91,200	35.3
楽屋B	275	30	10.9	66	14,200	36,000	39.4
創作工房	275	68	24.7	1,571	176,100	288,900	61.0
多目的ルーム	275	146	53.1	6,908	858,000	1,005,500	85.3
和室	275	35	12.7	99	21,400	67,700	31.6
会議室1	275	134	48.7	1,026	110,050	185,400	59.4
会議室2	275	65	23.6	365	49,750	119,100	41.8
会議室3	275	91	33.1	912	127,450	197,050	64.7
セミナー室	275	148	53.8	3,058	372,150	433,350	85.9
絵画アトリエ	363	363	100.0	1,815	525,400	522,400	100.6
彫刻アトリエ	363	53	14.6	112	133,400	138,600	96.2
テニスコート	259	211	81.5	7,754	2,214,300	3,123,800	70.9
グラウンド	259	141	54.4	6,138	272,600	378,100	72.1
計	4,269	1,700	39.8	38,056	6,568,300	10,055,950	65.3
前年度計	4,753	2,211	46.5	81,388			
前年度対比		76.9	85.6	46.8			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	269	258	95.9	3,500	0	0	0.0
工作室A	269	9	3.3	256	15,300	19,800	77.3
工作室B	269	54	20.1	2,838	89,850	77,850	115.4
アトリエA	269	63	23.4	852	0	0	0.0
研修室A	269	65	24.2	1,596	152,600	185,950	82.1
研修室B	269	112	41.6	2,151	202,800	219,800	92.3
会議室	269	83	30.9	757	62,100	81,100	76.6
工作共同	269	231	85.9	1,411	116,350	198,020	58.8
イベント広場	269	164	61.0	9,465	130,600	210,900	61.9
計	2,421	1,039	42.9	22,826	769,600	993,420	77.5
前年度計	2,781	1,160	41.7	74,029			
前年度対比		89.6	102.9	30.8			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	308			15,263			
プログラム				531			
団体利用				630			
その他				167			
運営協議会				12			
計				16,603			
前年度計	308			17,377			
前年度対比				95.5			

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	359 (駐車 場は 365日 開場)			172,278			
プログラム				2,142			
団体利用				1,324			
その他				0			
円卓会議				19			
計				175,763			
前年度計				159,144			
前年度対比				110.4%			

令和2年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公園指定管理	兵庫県	131,574,750	131,574,750	0	<ul style="list-style-type: none"> ・県立丹波の森公園に係る施設維持及び運営業務 ・ポストコロナ研修オンライン化推進事業 ・県立施設の換気設備強化(網戸) ・県民の感染症防止対策の推進(アクリル板) ・その他改修事業 			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	81,656,000	67,316,000	14,340,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理 ・県立丹波年輪の里の換気設備工事(木の館・アトリ棟・機械室)等を行う。 			
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	18,507,870	18,432,870	75,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理 ・県立ささやまの森公園の浄化槽設置工事等を行う。 ・感染症防止対策を推進するため、必要な消耗品(マスク・消毒液等)を確保し、安心・安全を図る。 			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	39,717,000	39,650,000	67,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県立丹波並木道中央公園に係る運営管理 ・感染症防止対策を推進するため、必要な消耗品(マスク・消毒液等)を確保し、安心・安全を図る。 			
丹波の森公園芸術文化配信事業(緊急雇用)	兵庫県	457,897	0	457,897	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公園に推進員(1名)を配置して業務を行う。 			
丹波年輪の里新型コロナウイルス感染症対策機器導入業務	兵庫県	330,000	330,000	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のためのサーゲムグラフィ・非接触型体温計導入 			
都市公園整備費	兵庫県	2,000,000	473,693	1,526,307	<ul style="list-style-type: none"> ・県立丹波並木道中央公園に係る維持修繕業務を行う。 ・危険木伐採業務 			

(単位:円)

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
シンボルの森整備事業	兵庫県	878,900	878,900	0	丹波の森宣言に基づき、丹波の森公園の里山がシンボルの森にふさわしい質の高い環境となるよう整備する。			
ミニガーデン花プランイベント開催事業	兵庫県	1,450,000	1,450,000	0	丹波地域のサイクリングロードの整備の取組みに合わせて、ミニガーデン(コナゲテナガーデン)の展示箇所を丹波地域内の道の駅など丹波地域の主要スポットに拡大し、地域住民の手により、まち全体を花で飾る取組みを始める。			
丹波地域における移住および二地域居住等現状分析業務	兵庫県	950,000	0	950,000	今般のコロナ禍において、豊かな自然のある地域で過ごしたいという地方回帰の流れが強まる中、都市近郊にありながら日本の原風景と言える田園空間やブランド農産物、集落に残る複数の古民家等の地域資源を有する丹波地域において、移住や二地域居住の更なる推進を図るうえで必要となる地域の状況を把握するため、移住および二地域居住促進の現状や今後の可能性等について調査分析を行う。			
太古の生きものの館の施設管理	丹波篠山市	159,500	150,700	8,800	丹波篠山市立太古の生きものの館の専任職員不在時の施設管理業務を行う。			
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム関連事業に係る総合プロデュース業務	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	2,490,000	2,490,000	0	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業の総合プロデュースに関することを行う。			
戦略的移住推進モデル事業	丹波篠山市福住地区まちづくり協議会	1,080,000	1,080,000	0	丹波篠山市福住地区まちづくり協議会に「福住地区移住者計画」策定支援やアンケートの制作及び集計分析を行う。			

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
木育キャラバン実施業務	兵庫県木材業協同組合連合	220,000	220,000	0	木育キャラバンの実施 ・県が決定した実施箇所について、県立丹波年輪の里に保管している木製玩具等を運搬、運営する。 ・安全に配慮した上で児童を対象に遊びを通じた木育活動を実施する。 ・保育士等職員や保護者等に対して最新の木づかい情報を提供する。			
丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	1,270,500	0	1,270,500	丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(実施計画および中長期計画策定支援) ・丹波地域の里山づくりを行うモデル団体公募により選定された4地区に対してアドバイザーを派遣し、里山づくり活動を支援する。			
		1,702,800	0	1,702,800	丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(活動評価、計画調整および情報発信支援) ・モデル団体6地区で策定・検討された「里山づくり計画」実施のための課題解決や計画の見直しなどの支援を行う。			
学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県生きがい創造協会	50,000	50,000	0	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸術発表や創作品の展示を通して、日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい、交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。			

284,495,217 264,096,913 20,398,304